

# 令和4年度第1回和歌山県医療対策協議会 議事録

【日時】令和4年9月1日（木）14:00～15:30

【場所】ホテルアバローム紀の国 3階 孔雀の間

## 【次第】

1. 開会

2. 挨拶（和歌山県福祉保健部 野尻技監より挨拶）

3. 議題（※下記（1）～（7）のとおり進行）

（1）会長及び副会長の選任について

（2）シーリング対象外とする医師の範囲について

（3）専門研修に関する和歌山県の意見（案）について

（4）令和5年度地域枠の設置について

（5）和歌山県キャリア形成プログラムの策定について

（6）和歌山県キャリア形成卒前支援プランの策定について

（7）その他

4. 閉会

## 【議事】

### [議題（1）会長及び副会長の選任について]

（事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長）

今回、委員改選に伴い、会長及び副会長の選任が必要となる。会長及び副会

長については、「知事の附属機関の組織及び運営に関する基準を定める規則」第4条の規定により、委員の互選により定めることとなっている。

本協議会の会長は、これまで県医師会長に就任いただいているところ。事務局としては、慣例に従い、平石委員にご就任いただきたいと考え、会長に就任いただくことを事前にご了承いただいていたが、本日平石委員は所用のため欠席。平石委員不在ではあるが、会長を就任いただくことを提案するが、いかがか。

<「異議無し」の声>

賛同が得られたので、平石委員に会長をお引き受けいただく。

続いて、副会長について。これまで県病院協会会長に就任いただいているところ。事務局としては、中井委員を就任いただくことを提案するが、いかがか。

<「異議無し」の声>

中井委員、お引き受けいただけるか。

<中井委員（首肯）>

以降の議事進行については、平石会長不在となるので、その職務代理として、中井副会長にお願いする。

## **[議題（2）シーリング対象外とする医師の範囲について] 及びそれに関連する**

## **[議題（3）専門研修に関する和歌山県の意見（案）について]**

**（事務局 医務課 宮本主査）**

専門医制度と県内の状況、シーリング対象外とする医師の範囲及び専門研修に関する和歌山県の意見（案）について説明（【資料1】関係）。

**（中井副会長）**

事務局より、シーリング対象外とする医師の範囲について及び専門研修に関する和歌山県の意見（案）について説明があった。ただいまの事務局からの説明を受けて、各委員からご質問やご意見があれば発言をお願いします。

**（山下委員）**

P9の特別地域連携プログラムについて。内科2名加算となっているが、これは各プログラム1名で医大、日赤1名ずつということか。また、その加算に対して、子育て支援加算も1名ずつ増えるということか。

それと、P10の対応方針（案）でシーリング対象外となる範囲については、自治体で決めているのか。

**(事務局 医務課 宮本主査)**

P9については、その考え方になると見込まれる。

P10のシーリング対象外の範囲は、国のルールで決まる。ただし、この範囲は、各都道府県において、医療対策協議会の承認を得た上で、国に対してリストを作成し、提出することとなっているので、毎年本協議会で承認をいただく。

**(山下委員)**

P17について。新規で追加する意見は、P15の1.①と同じ内容かと思うが、気になる点がある。東京の一般枠専攻医が多い上に、さらに+αをするとより増えるということが県の論点。一方、国の論点は、東京が多いということではなく、多いところにシーリングをかけるということ。そうすると、この意見では、専攻医の多い地域には、一般枠を減らして、さきほどの特別連携枠を入れるというような形に、和歌山県も一票入れているのではないかと心配している。

**(事務局 医務課 宮本主査)**

県としては、東京都とその他の地域を区別して対応してほしいと、これまで国へ要望しており、今後も継続して要望していきたいと考えている。ただ、今後、そのような方向性になった場合に備えて、連携プログラムをご準備いただきたい。

**(山下委員)**

連携枠と一般枠は、使い方が全然違う。特に、特別連携は、連携先がほとんど東北地方であり、これが一般枠の中に算定されると、一般枠は減ってしまう。実際、来年度の連携枠は、ゼロで使えていない状況。連携先がほとんど東日本であり、元々チャンネルがあれば良いが、そうではない。結果、西日本の病院については、かなり厳しくなる。

**(中井副会長)**

地域性というか、地理的な環境も配慮してくれという文面のほうがいいのかも。また、全国的に均等な形で受け入れられるのかという文面のほうがいいのか。研修期間が1年以上と決めたのもよくわからない。他のプログラム同様に1年6ヶ月以上で良いのでは。

**(事務局 医務課 宮本主査)**

より医師が少ない東北地方等に行きやすくするため、専門医機構が1年以上にしている。

**(駿田委員)**

連携枠については、本人の希望があればということか。例えば内科で、和歌山県へ帰ってくることを前提に1年以上東北へ行ってもいいという方がいれば連携枠を使えるということか。

**(事務局 医務課 宮本主査)**

希望者がいない場合は、なかなか難しい。

**(駿田委員)**

県としては、一般枠がオーバーする可能性があるときに、連携枠に入っても取りたいという方がいる場合に備え、枠を作っておきたいということか。

**(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)**

今回の案については、まず一般枠20名分が昨年度と同様に確保されていることが前提の上で、さらに増やす部分があるという案。県としても、従来の部分は、まず守られているということが大前提。そのため、連携枠が一般枠内に入ることは想定されていない。しかし、今後、一般枠内に入り、現在の20名が減るということになれば、国に対してさらに強く言っていく。

**(山下委員)**

該当する医師がおり、連携先がプログラムに入っていない場合は、プログラムとして実行しているのか。それとも早い段階から、プログラムの中に連携先として入れておかないといけないという話なのか。

**(事務局 医務課 宮本主査)**

事前に、連携先をプログラムに入れて、専門医機構に登録し、準備いただく必要がある。その上で、該当の医師が連携プログラムを受講する必要がある。

**(野尻委員)**

現行の一般枠募集のプログラムの中に連携枠を算定しないようにすること、あるいは、連携枠について、派遣することが現実的に難しいというような文言を追加するように案を修正する。

**(中井委員)**

P6について、救急科で新宮市立医療センターが連携施設になっている。しかし昨年度から、救急専門医がいない状態であり、大丈夫なのかと懸念している。また、皮膚科についても、常勤医がいない中で、連携施設といえるのか。

(事務局 医務課 宮本主査)

現在、専門医機構への登録では連携施設となっている状況。

(中井副会長)

例年、国へ出している意見について、未回答がある。これは、どういう扱いなのか。何年もかけて検討するようなものではないものもある。

(事務局 医務課 宮本主査)

P16「2. 専門医制度の運用について」で示すように、地方から提出された意見について、その反映状況を報告するよう継続して国へ意見していく。

#### [議題(4) 令和5年度地域枠の設置について]

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

令和5年度地域枠の設置について説明(【資料2】関係)。

(中井委員)

診療科枠について、麻酔科枠を設置することは可能か。

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

令和5年度は、県内に医師が不足する診療科として、産科、小児科、精神科の入学枠を県民医療枠に設置した。

麻酔科については、今後、他の診療科の状況を見ながら検討していく。

#### [議題(5) 和歌山県キャリア形成プログラムの策定について]

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

和歌山県キャリア形成プログラムの策定について説明(【資料3】関係)。

(山下委員)

このキャリア形成プログラムは、どのタイミングで地域枠医師に適用されるのか。

(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)

6年生になる方から適用となる。これまでも、地域枠の医師が県内でキャリ

ア形成を行えるよう支援しており、プログラムとして従来のキャリア形成の仕組みを踏襲したものとご理解いただければ。

**(駿田委員)**

地域密着型コースについて質問。

対象者は、地域医療枠だけの仕組みか、県民医療枠は当てはまらないのか。

**(事務局 医務課 岩垣医療戦略推進班長)**

専門研修プログラムを取らない方については、どちらも適用される。

**(駿田委員)**

専門研修プログラムを迷われている方が地域密着型コースに居ながら、内科等の専門医をめざすことは可能なのか。というのも、地域に貢献したい方で医局に属したくない方もいる。その方が県内の地域医療機関で働くことができるような制度があれば良いと考える。

**(大原委員)**

産婦人科について、和歌山市内においては充実していると思うが、那賀や南の地域においては不足している状況。その中で、産科枠を設置することは、心強い。この時代、産科医になろうとする医師は少ないと聞く。高校、大学の中から、産科医をめざしたいという方がいればうれしいという気持ちで応援させていただく。

## **[議題（6）和歌山県キャリア形成卒前支援プランの策定について]**

**(事務局 医務課 宮本主査)**

和歌山県キャリア形成卒前支援プランについて説明（【資料4】関係）。

**(中井委員)**

地域枠等に限らず、全ての医学生に広めたい制度。県立医大で県の関与の下、行われると思うが、全ての入学された学生に、広めていただきたい。

## **[議題（7）その他]**

議題（7）の「その他」について、事務局からは特に報告等ないと伺ってい

る。この際、各委員より何かご発言等あればお願いします。

<特になし>

本日本日予定していた議事は以上である。

以上